

# 輸出に取り組んでいるGAP認証取得経営体の事例

## (有)鳥山牧場(群馬県;肉用牛)

### ■取組の概要 (平成31年3月認証取得)

グループ企業の鳥山畜産食品(株)を通じて平成25年から輸出を開始。

主に米国、シンガポール、EU、シンガポールのレストラン、精肉店、スーパー向けに輸出。同社では、特に食や環境について問題意識の高いEU諸国への輸出拡大において、JGAP認証を取得していることはサプライヤーや顧客からの信頼が得やすいと実感。

(近年の輸出実績)

令和2年度:21.2t、令和3年度:30.3t、令和4年度:27.1t

『・・・この度の『JGAP認証』取得の背景には、世界的な食品安全などの認証制度に関する要求の高まり(中略)があり、鳥山牧場では黒毛和牛100%の一貫生産牧場としていち早くこの問題に着手し、・・・。』

鳥山畜産食品(株)プレスリリースより

## フリーデン(株)(神奈川県;豚)

(令和元年5月 団体認証取得)※関連農場含め6経営体

### ■取組の概要

香港の主に百貨店やスーパー向けに豚肉を輸出。

商談では品質や食味に加え、JGAPの取組についても説明していることが商談結果につながっている。

(近年の輸出実績)

平成27年度:20.0t 令和元年度:20.8t

平成28年度:29.6t 令和2年度:7.6t

平成29年度:45.1t 令和3年度以降:0t

平成30年度:13.7t ※令和2年度途中から、CSF 発生国であることから輸出実績なし



やまと豚の加工品にGAP認証マークを表示し差別化

## (株)藤原ファーム(徳島県;肉用牛)

### ■取組の概要 (令和元年7月認証取得)

令和3年3月から「とくしま三ツ星ビーフ」として米国へ輸出開始。米国の他、デンマーク、フランスの高級レストラン等向けに輸出。

海外バイヤーからサステナブルビーフにつながるJGAPの考え方や徳島県のJGAPを必須条件としている牛肉認証制度「とくしま三ツ星ビーフ」が評価。

(近年の輸出実績)

令和2年度:116t、令和4年度:613.9t

令和3年度:780.8t



ゴールドスター  
黒毛和種部門

「とくしま三ツ星ビーフ」  
ゴールドスター(黒毛和種部門)  
ロゴマーク

## 南州農場(株)佐多農場・根占農場

((鹿児島県;豚) (平成30年12月認証取得))

### ■取組の概要

平成21年度から香港・マカオに黒豚カット肉の輸出を開始。このほか、高級スーパー向けの黒豚原料のウイナーやベーコン、ボンレスハム等を輸出。

(近年の輸出実績)

令和元年度:7.2t、令和4年度:47.7t

令和2年度:8.8t

令和3年度:19.1t



## フュージョン(株)(宮崎県;採卵鶏) (平成30年12月認証取得)※関連農場含め5経営体

■取組の概要 平成30年10月から自社鶏卵のみのコンテナを仕立てて、香港への輸出を本格化。  
(近年の輸出実績:香港) 令和元年度:531t、2年度:1,400t、3年度:1,329t、4年度:879t



●その他、(株)蔵王ファーム山形蔵王牧場(山形県;肉用牛)、(株)永田牧場(栃木県;肉用牛)、(株)トマル(群馬県;採卵鶏)、(株)ナチュラファーム(埼玉県;採卵鶏)、(株)エムイーシーフーズ(千葉県;採卵鶏)、(株)横浜ファーム君津農場(千葉県;採卵鶏)、(有)伊藤牧場(三重県;肉用牛)、(有)グリーンファームソーゴ(京都府;採卵鶏)、(株)アキタフーズ(広島県;採卵鶏)、長谷川グループ牧場(徳島県;肉用牛)、義岡ファーム(株)(徳島県;肉用牛)等で輸出実績あり。